

目 次

公民館10周年記念誌の発刊に寄せて……………	福生市教育委員会教育長	森田 猛
記念誌発刊を祝して……………	福生市公民館運営審議会委員長	田村 征利

I 福生の社会教育の歩み

はじめに……………	1
第Ⅰ期 戦後社会教育・自己教育運動の出発……………	2
第Ⅱ期 30年代の福生の社会教育……………	10
第Ⅲ期 福生における社会教育行政の確立……………	13
第Ⅳ期 福生の社会教育施設の確立と「社会教育基本構想」……………	17
第Ⅴ期 公民館の時代……………	20

II 社会教育計画と施設づくり

はじめに……………	21
1. 社会教育計画とその施設計画策定……………	22
2. 市民の公民館づくり運動……………	28
3. 市民会館・公民館(会館)の建設・態勢づくりから開館へ……………	33

III 公民館活動の10年

1. 子どもと公民館……………	41
2. 青年と公民館……………	57
3. 婦人と公民館……………	69
4. 成人と公民館……………	83
5. 高齢者と公民館……………	99
6. 障害者と公民館……………	113
7. 保育室と公民館……………	127

8. 自然保護と公民館	159
9. 市民文化教室と公民館	175
10. サークルと公民館	189
11. つどい、利用者発表会と公民館	203

Ⅳ 座談会 公民館10年を語る

座談会 公民館10年を語る	217
---------------	-----

Ⅴ 公民館運営審議会のあゆみ

公民館運営審議会のあゆみ	231
--------------	-----

Ⅵ 資 料 編

福生市の人口・世帯数の推移	239
福生市公民館条例	241
福生市公民館条例施行規則	245
福生市公民館庶務規則	248
幼児室のあり方について（定期監査報告書から）	250
福生市公民館における幼児教室の実施について諮問と答申	252
福生市公民館の職員配置および運営に関する要望	261
うんしんおばさんだより（1号）	272
こうみんかん（創刊号）	273

Ⅶ 福生市社会教育史年表

福生市社会教育史年表	275
------------	-----

公民館十周年記念誌

発刊に寄せて

福生市教育委員会教育長

森 田 猛



昭和52年に公民館が創設されて10周年を迎えました。

これを契機に公民館活動の10年の歩みをまとめ、10周年記念誌として発刊されますことは、誠に意義深いことと思います。

また、昭和62年度におきましては、福生市公民館が優良公民館として、文部大臣表彰を受賞することができました。これは10年間の活動等、内容の功績が認められたことはもとより、市民の皆様のご協力をはじめ、歴代の館長、職員のご苦勞と、公民館運営審議会委員の方々、社会教育関係委員の方々のご指導、ご鞭撻の賜物であり、この場をお借りして深く感謝申し上げますとともに、心から敬意を表します。

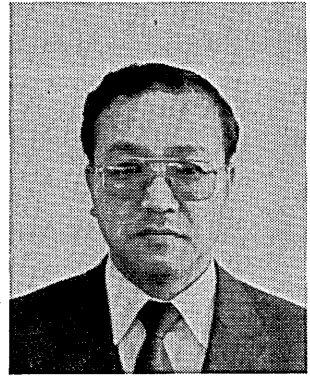
昨今では、社会教育に対する市民の皆様の関心が高く、生涯教育の必要性が広く叫ばれ、公民館に対する要望も多岐にわたっております。こうしたなか、公民館では現在、幼児・少年・青年・婦人・成人・障害者・高齢者と各年齢層を対象とした数々の学級・講座が実施されており、また、170を超える社会教育団体が学習活動の場として公民館を利用しております。その活動は単に、知識や技術の習得に終わることなく、自主的、自発的に活動し、市民相互の交流ふれあいの場となっており、このことが地域発展、公民館活動発展の大きな力となっているといえます。

今後とも、関係者の皆様の暖かいご支援とご協力により、公民館がより一層充実した活動の場、広く市民に愛される社会教育の場として発展してまいりますよう祈念して、私のお祝いの言葉といたします。

記念誌発刊を祝して

福生市公民館運営審議会委員長

田 村 征 利



「10年ひと昔」とは、まさに昔の話。最近における10年は、つい 昨日のことであり、当時の世相、そして、その中に公民館設立の構想が浮上するあたりの状況は、おそらく、当時関係をされた方々の脳裡に明確にやきついているのではないかと思います。そして、今日の公民館の発展ぶりをみるとき、そのご苦勞の様子は充分に察することができます。

殊に、市におけるいろいろな機関・施設の中で、幅広く市民に最も多く接する機会の多い公民館の役割は、ひとり社会教育の分野にとどまらず、広く市民行政に貢献するところも大きかったのではないかと考えます。

こうした公民館の動きは、単に施設の利用という表面に現われたもののみでとらえることなく、常に公民館のあるべき姿を問い続け、運営に当ってのしっかりした理念を追求するという努力が背後にあったことを思わなければなりません。

このことは、すでに過去10年の間に終ったのではなく、更にたえざる進展をめざさねばならないと思います。時代は、はげしく変化します。公民館はその活動を通じて、市民の文化活動、学習活動の姿を適確にキャッチし、あるべき方向を市民と共にリードしていく役割があると思います。

10年間の活動がいかに素晴らしいものであったかは、先頃、優良公民館として大臣表彰をうけたことによって明確なところであります。着々として積まれた数々のノウハウは、今後の10年・20年に充分生かされ、その時々の変化と要請にこたえ得る貴重なものであります。

10年の足跡を1ページ1ページに綴ることにより、将来重要な史的価値をもつ記念誌としての本誌の役割をはたされますことを心から信じております。